産業用太陽光発電・蓄電池

産業用太陽光発電・蓄電池の4つのメリット

1 電気代の大幅カット
2 企業価値の向上
3 電力自立で災害・停電対策
4 電気代や空調費の削減に繋がる

1	2	3	4
電気代の大幅カット	企業価値の向上	電力自立で災害・停電対策	電気代や空調費の削減に繋がる
太陽光発電による 5.3%	太陽光発電による 25~28%	太陽光発電による 25~28%	太陽光発電による 25~28%

2040年には太陽光が「主力電源化」へ

経済産業省は2040年までに太陽光発電を主力電源化する方針を示しました。2030年頃に向けて、太陽光発電の導入拡大を加速させるための新たな制度が検討されています。

2030年頃	2040年頃	2050年頃	2060年頃
住宅新築太陽光発電義務化	住宅新築太陽光発電義務化	住宅新築太陽光発電義務化	住宅新築太陽光発電義務化
太陽光発電による 5.3%	太陽光発電による 25~28%	太陽光発電による 25~28%	太陽光発電による 25~28%

自家消費型太陽光発電のメリット

2012年の「FIT制度」から早期入手権利、太陽光発電システムが導入が急増し、2019年度で終了となりました。

売電単価と電気料金の推移		
産業用	家庭用	家庭用
電気料金の上昇	電気料金の上昇	自社で発電する時代
売電単価	売電単価	
2012年~2019年	2012年~2019年	
約10年間	約10年間	
約7~8円	約31~33円	

FIT制度の売電単価は、固定買取りで保証されるように見て取れます。電気料金は、ご存知の通り、年々上がっています。自家消費型太陽光発電システムを設置することにより、電気代を抑えることが可能です。

電気代を削減

電気代を削減する方法

電力会社に頼らず、自家発電を行うことが可能です。

仕様	
太陽電池容量	14.96kW
太陽電池モジュール	455W
太陽電池モジュール枚数	34枚
パワーコンディショナ容量	10.0kW
売電単価	48円/kWh

年間発電量 | 19,136kWh/年

全て自家消費した場合 年間電気代節減額 約45万円

シャープ亀山工場の例

シャープ亀山工場の年間電力消費量は約2億2000万kWhで、太陽光発電システムの年間発電量2000万kWhを賄えるため、年間約2億円の節減効果が期待できます。

固定買取から自家消費へ

企業価値の向上

環境にやさしいエネルギーの利用

東電管内CO2排出係数は0.5kg-CO2/kWhに対し、太陽光発電システムは0.0kg-CO2/kWhと、100%の削減に貢献することで、企業イメージアップが期待できます。

土地の有効活用

工場の屋根や、太陽光発電を設置し、企業価値を高めるとともに、新たな収益を創出することが可能です。

税制の優遇措置

中小企業経営強化税制

中小企業経営強化法に基づき、中小企業が設備投資を行う際に、即時償却、税額控除の選択が可能となります。税制優遇により設備投資の負担軽減や資金調達が可能です。

設備投資の優遇措置(法人税)

- 中小企業向け法人税
- 即時償却
- 税額控除
- 設備投資の負担軽減
- 資金調達が可能

設備投資の優遇措置(法人税)

	法人税	法人税
通常	1,000万円	1,000万円
即時償却	1,000万円	100万円
税額控除	1,000万円	1,000万円

100%即時償却

100万円 税額控除

導入までの流れ

必要な期間と規模

太陽光発電に必要なスペースは規模が大きくなるにつれ、比例して増加します。

1.5kW/hシステムの場合

- 1時間発電量 約1.5kW
- 年間発電量 約1,500kW

必要面積 約15m²
畳 約9.2枚

産業用太陽光発電システム導入までの流れ

●「自己CO2(W.W.B)」

- 太陽光発電システム導入前の排出量
- 電力・石油のCO2排出量(Kg-CO2)
- 太陽光発電システム導入後の排出量
- 太陽光発電システムによるCO2排出量(Kg-CO2)
- ディメット・排出量(Kg-CO2)

●「自己CO2(W.S.L)」

- 太陽光発電システム導入前の排出量
- 電力・石油のCO2排出量(Kg-CO2)
- 太陽光発電システム導入後の排出量
- 太陽光発電システムによるCO2排出量(Kg-CO2)
- ディメット・排出量(Kg-CO2)

発電シミュレーション・システムの選択

サンスイの提案の根拠

1.5kW/hシステムの場合

- 1時間発電量 約1.5kW
- 年間発電量 約1,500kW

必要面積 約15m²
畳 約9.2枚

仕様	
太陽電池容量	14.96kW
太陽電池モジュール	455W
太陽電池モジュール枚数	34枚
パワーコンディショナ容量	10.0kW
売電単価	48円/kWh

年間発電量 | 19,136kWh/年

北陸の気候を知り尽くした石及グループ

石及グループは、太陽光発電・蓄電池 北陸No.1

豊富な実績を有する専門チーム・営業・設計・施工・アフターサービスまで一貫した安心と信頼。

自社施工による安心の工事品質

自社施工による安心の工事品質

石及グループは、太陽光発電・蓄電池の施工実績2,000件以上を誇る安心施工です。

アフターサービス体制もNo.1

お問い合わせ・無料見積フォーム

BCP計画

停電無償提供の特長

BCP計画

BCP = Business Continuity Planning = 事業継続計画

マンション・ビルにおけるBCPの重要性

2011年3月、東日本大震災発生直後、広範囲の地域で長期間に渡り大規模な停電が発生しました。この時、マンションやビルの共用部分の電力は、通常通りの電力供給が行われていたものの、各家庭への電力供給は、電力会社の指示により、一斉に停止されました。

非常用の電力確保が重要!

事業者向け蓄電池

蓄電池システム構成イメージ

蓄電池の容量設定可能時間

●非常時の使用可能時間

容量	2時間	3時間	4時間
4.5kWh	○	○	○
6.5kWh	○	○	○
9.0kWh	○	○	○
13.0kWh	○	○	○
7.8kWh	○	○	○

- 4.5kWh ≒4.1時
- 6.5kWh ≒6.0時
- 13.0kWh ≒7.8時

BPが全国初!!!

非常時の電力確保が重要!

V2Hシステム構成イメージ

V2Hのシステムは、EVからの電力を、EVからの電力を、EVから家へ